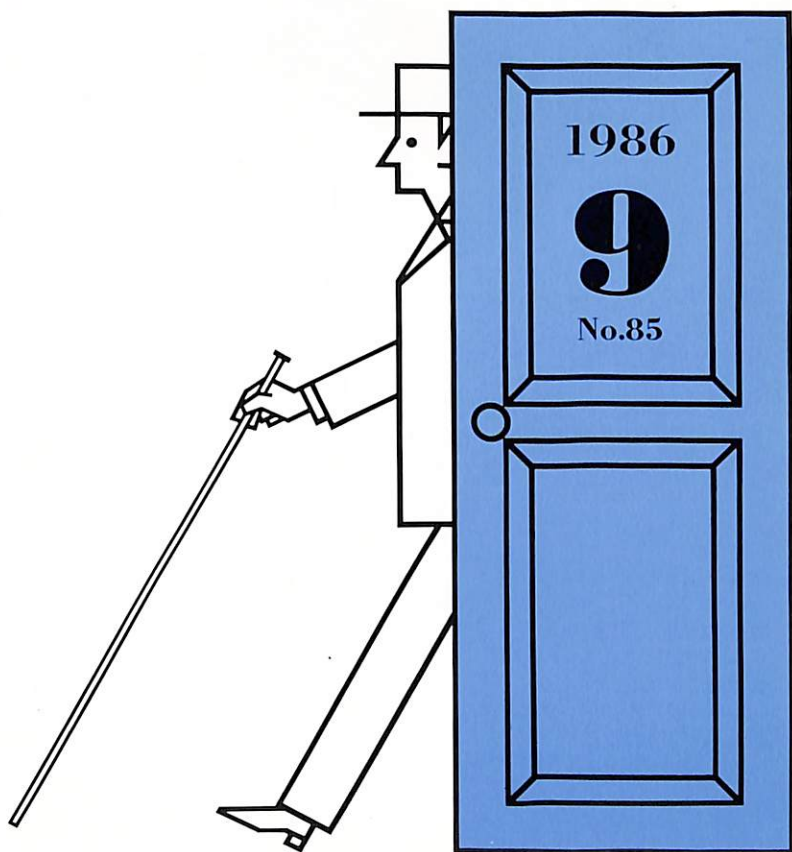


視覚 障害

その研究と情報

特集*どこへ行く盲人の三療



ISSN 0385-7476

SSK

昭和四十六年六月一七日

第三種郵便物認可

昭和六一年八月一五日

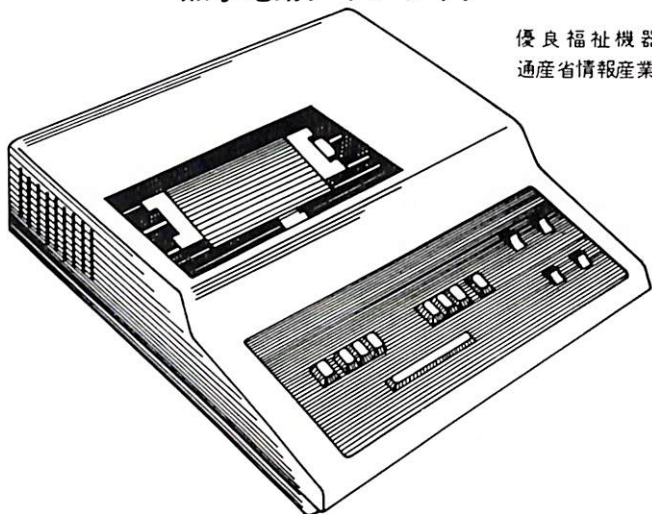
SSK通巻第一四七六号(毎月六回、5の日、0の日発行)

Braille Data Terminal

ESA 731

点字電動タイプライタ

優良福祉機器表彰制度
通産省情報産業局長賞受賞



ESA731はコンピュータをはじめとする
情報機器との接続が可能な電動タイプライタです
使い方いろいろ。点字情報の
未来を拓くためのお役に立ちます。

特 徴

- 簡単な操作
パーキンスタイプライタと同じキー配置
- 利用範囲を大きく広げる点字プリント機能
毎秒10文字のハイスピード印字
- 良質な印字
110kgの用紙までプリント可能
- 改ページ機能
連続用紙の採用により自動的にページ変えが可能

主な適用分野

- カナタイプ↔点字タイプ思いのまま
自動点訳、自動代筆、録音タイプ
- 点字版ワードプロセッサ
小部数の複製が手軽にとれます。
- コンピュータ端末装置
マイコン、ミニコン、大型コンピュータの
いずれにも接続してコンピュータの情報を
点字で入手できます。

(株)白雷商会

福祉機器事業部

〒174 東京都板橋区前野町3-48-2 電話03(969)8266(代表)

目 次

1986年 9月 №85

2 ページ評論	成田 隆一	2
特集 どこへ行く盲人の三療 座談会	桂田 淳一・時任 基清・橋本 宗明・田中 徹二	5
ボランティア西・東 「はもんの会」を知っていますか		24
この人と語る 視覚障害者の職業問題——その歩みと課題	片岡 好亀・馬渡 藤雄	28
自叙伝による近代の盲人像 第2回	谷合 侑	42
インフォメーション・コーナー		51
編集後記		63



理教連はこう考える

全国盲学校理療科教員連盟会長 成田 隆一

約3000年前、中国の黄河流域に発祥した鍼・灸・あん摩のいわゆる三療が、6世紀中頃、仏教の伝来と共に日本へ移入されました。その後、この技術がわが国の気候、風土並びに生活様式等に適合するよう改良が加えられ、今日まで着実に発展し続けてきました。

とりわけ、10数年前、アメリカのレストン記者によって、中国における鍼麻酔の外科手術への応用が大々的に報道されたことが一つの契機となって、世界各国の人達に並々ならぬ波紋を投じました。

その結果、それまで白眼視していた多くの医療従事者達の鍼・灸治療への関心が急速に高まり、その科学化、客観化へのメスに拍車がかけられました。そして今では立派に医療の一翼を担うまでに躍進しつつあります。この現象は医療業界にとって、また国民にとっても誠に喜ばしい限りであります。

このような情勢から、数多くの晴眼者達が、この三療の道へ進出し始めました。次ページの表に示す通り、年々増加し、その占有率は過半数を大きく上回る程になっています。

江戸時代の盲目の偉才・杉山和一氏によって、視覚障害者の職業的自立の道が開拓されて以来、約300年間という長い歴史と伝統の上に育まれたものの、現代の厳しい社会情勢の中で大きく変換しつつあります。そのため、ただ単に手をこまねいていたのでは視覚障害者の多くは三療業界から自然淘汰されるでしょう。

そこで、私どもの連盟では数々の難問打破の方策として、次の諸事項について検討中であります。

第1に、現行の理療科教育制度、教育課程、教育内容等の再検討をし、現代に適合した教育をめざす。

第 2 に、三療を生かした新しい職域の開拓と拡充を図る。

第 3 に、既に卒業した理療科生徒に再教育の場を提供し、最新の知識や技術の練磨を図る。

第 4 に、視覚障害者のための高等教育機関設立を早期に実現してもらい、社会のニーズに応える人材育成を図る。

第 5 に、理療科教員自身のパワー・アップを図り、より良い指導をするため、研修の場・時間の確保をめざす。

以上のような点が実現されるならば、視覚障害者の三療は、将来、決して悲観的なものではなく、むしろ更に発展されよう。

三療就業者数過去 5 年間の変化

—厚生省衛生行政業務報告から—

(あんま師)

年 度	総人数	盲 人		晴 眼 者	
		人 数	全体比(%)	人 数	全体比(%)
昭 和 55	80,059	37,679	47.06	42,380	52.94
昭 和 59	86,024	37,925	44.09	48,099	55.91
5 年間の増加	5,965	246	4.10	5,719	95.90

(はり師)

年 度	総人数	盲 人		晴 眼 者	
		人 数	全体比(%)	人 数	全体比(%)
昭 和 55	46,898	18,744	39.97	28,154	60.03
昭 和 59	52,794	19,232	36.43	33,562	63.57
5 年間の増加	5,896	488	8.28	5,408	91.72

(きゅう師)

年 度	総人数	盲 人		晴 眼 者	
		人 数	全体比(%)	人 数	全体比(%)
昭 和 55	45,533	17,541	38.52	27,992	61.48
昭 和 59	51,433	18,094	35.18	33,339	64.82
5 年間の増加	5,900	553	9.37	5,347	90.63

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

本号の特集をお読みになってどんな感想をお持ちになられたでしょうか？盲学校の普通科の先生方、中には理療科の先生方までもが、教え子の進路、将来の職業についてまったく無関心だという話をよく聞きます。また、職を失った中途失明者の職業的リハビリテーションも、理療だけというのが現状です。この座談会の出席者の皆さんのように、理療に真剣に取り組み、りっぱな職業人として自立しておられる方がある一方で、無気力な理療師がどんどん世の中に送りだされています。視覚障害者の場合、障害年金と合算してなんとか食べていければいいのだから、理療からの収入は月10万円（平均患者数1日1人、労働時間1時間）で十分。それくらいの働きは大部分の視覚障害理療師はしているのだから、りっぱに職業訓練の役割を果たしているという考え方も、現実には通用しているのです。

しかし、皆さんも指摘しておられるように、今のままでいいはずはありません。「10年1日のごとく、曲り角にきた理療と言われ続けている」などと言っているうちに、足元をすくわれないようにしたいものです。足元を固めるための働きかけがまさに必要な時期になっていることを感じます。

（田中徹二）

視 覚 障 害 1986年 9 月 №85
年間購読料 3,000 円（送料とも）

発行日 1986年 9 月 1 日

編集人 （連絡先）

日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目
23番4号 日本点字図書館内

電話（03）200-1130

振替口座 東京 6-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京世田谷区砧6-26-21

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電 話（624）6111（代表）

協賛団体 日本点字図書館